

データ利活用による スマートシティの実現をめざして。

大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を活用した ODPO（Open Data Platform in Osaka） データカタログサービス

ORDENを活用し、全国の自治体や民間企業等が幅広いデータを掲載・取得できるサービスである「ODPO（Open Data Platform in Osaka）」。

ODPOでは大阪府および府内市町村のオープンデータや民間の様々なデータを整備し、一覧性のあるカタログ上で分かりやすく掲載することで、データを活用した様々なサービスが創出されることをめざしています。



データの活用が
新たなサービスを生む

ビジネス・イノベーション

新たなサービスの創出が
多様なデータの連携を生む



ガブテック



スマート観光



エドテック



ロボット・バーチャル



スマート防災



スマートエネルギー



フィンテック

住民QoL
の向上

ビジネスが生まれるデータ駆動型社会
快適な環境のもとでチャンスがあふれる、未来のビジネス都市
イノベーションを通じたビジネスの振興

都市競争力
の強化

データを カタログ上に掲載

APIによるデータ連携機能を
備えGUIによる簡単なデータ
取得・登録も可能です。



新たな サービスの創出

官民のデータを連携すること
により新たなサービス創出を
促進します。



ODPOの利用について

ODPOをご利用いただく際のサービス内容については、以下の比較表をご覧ください。

	データ利用限定会員（新設）	データ提供・利用会員
利用目的別対象ユーザー	データ利用のみ	データ提供・利用等全機能利用
機能比較		
・ カタログの閲覧	○	○
・ カタログに登録されているデータの利用	○（*1）	○
・ カタログ作成・変更・削除	×	○（*2）
・ カタログのデータ登録・変更・削除	×	○（*2）
・ テナントの付与	×	○（*3）
・ テナント内のアカウント作成	×	○（*2）
・ ODPO fiwareの利用	×	○（*4）

（*1）カタログの公開範囲が「公開」かつデータモード*5が「ファイル/リンク」または「外部連携」となっているもののみ取得・利用が可能です

（*2）ロール設定によってアカウントごとに所定の権限設定が可能です

（*3）申請団体ごとのテナントを付与します

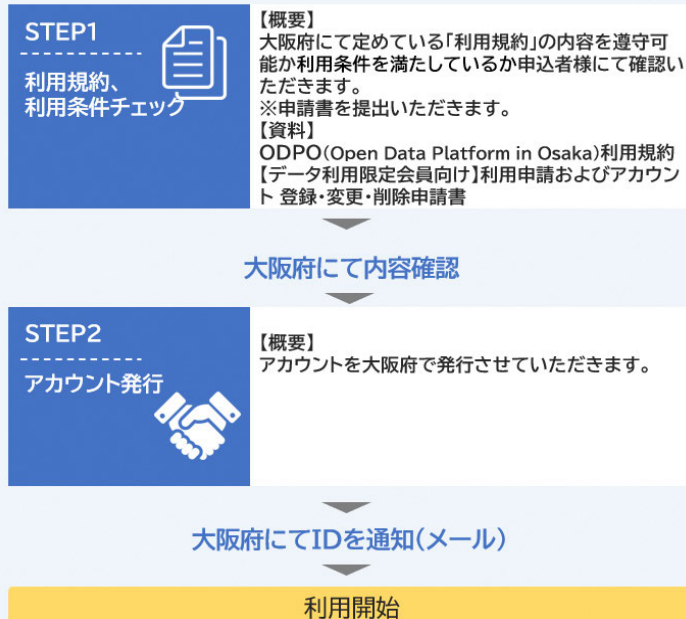
（*4）通常のODPO利用申請以外に別途、サイト提供者に対して申請することでODPO fiwareが利用可能です

（*5）データカタログの種類。ODPOにはファイル/リンク、外部連携、Key Value、エンティティの4種類のデータモードがあります

データ提供・利用会員 利用開始までの流れ



データ利用限定会員 利用開始までの流れ



大阪府スマートシティ戦略部
一同、ご参加を心より
お待ちしております！



詳細はこちらから



https://www.pref.osaka.lg.jp/o060020/tokku_suishin2/orden/orden_riyou.html